

# POTTプログラムIN宇治

2019年10月19日開催

医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院

参加者：19名

参加者職種：看護師 言語聴覚士 管理栄養士

講師：迫田綾子（日本赤十字広島看護大学名誉教授）

ファシリテーター：土本久美子（済生会京都府病院）

田尻留美子（山城医療総合医療センター）

岡田裕子（宇治徳洲会病院）

# ～研修の様子～

19名と少人数で和気あいあいと楽しく研修を行いました！！

管理栄養士、言語聴覚士、看護師、皮膚・排泄ケア認定看護師など多職種の参加がありました。



新しい発見がたくさんありました。

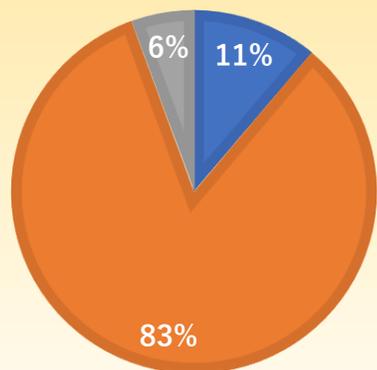
全然ちがう！！



迫田先生の講義に引き続きベッド、車いすでの演習を行い、ポジショニングの大切さや、今まで気が付かなかったことの発見などとても刺激的な研修会となりました。今回京都で第1回目のPOTT研修会ということで、今後もPOTTの輪が広がっていくことを願っています！！

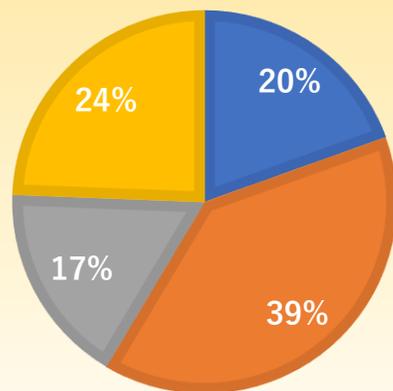
# アンケート結果（全員初参加）

臨床でポジション  
ングや食事介  
難を感じるこ  
はありますか？



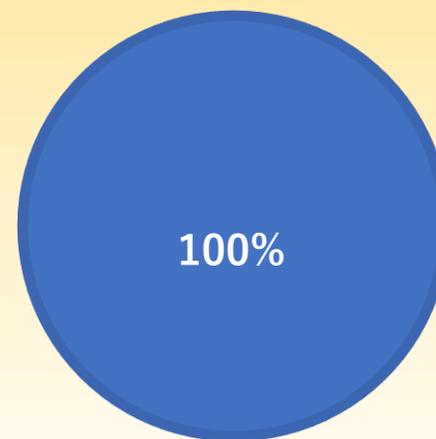
■ いつも ■ 感じる

適切なポジション  
グをするような  
のようになりますか？



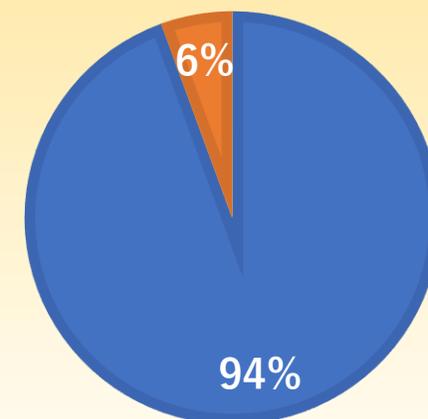
■ 自分で食べられる ■ 誤嚥が減る  
■ 食事の中断が減る ■ 食事量が増える

今回の研修はい  
かがでしたか？



■ 参考になった

今回の研修を現  
場で生かすこと  
はできますか？



■ はい ■ わからない

クッションの位置などを工夫することで食べやすさが違うことが分かった  
端巻きタオルや介助者の位置、スプーンの角度など小さなケアが誤嚥防止につながるということが分かった  
違う視点からポジショニングを学び新しい発見がたくさんあった  
自分が患者体験をすることで不良姿勢の心地の悪さ、食欲減退する患者の気持ちが分かった  
皆ができるようにしたい（伝達講習の実践）看護界すべてに広がってほしい 目からウロコの研修でした  
他多数のご意見をいただきました！！